

東京交通新聞 2008年2月4日(月)

<障害者乗り場は検討課題>

東運支局・アドバイザー会議

関東運輸局東京運輸支局は先月31日、立川市の立川グランドホテルで2007年度交通アドバイザー会議(座長=秋山哲男首都大学東京大学院教授)を開催した。

立川での開催は前年度に続き2回目。会議のフォローアップを行うとともに、交通運輸事業者の防災対策やバリアフリー対応、観光施策などについて意見を交わした。

塩崎雄二郎支局長はあいさつで「地域に密着した行政を展開していくには地元の方々の意見や要望を施策に反映させていく必要がある」とし「利用者利便の向上から観光、町づくりといった様々な視点から意見を寄せてほしい」と呼びかけた。

タクシーに関しては前年度の会議で出された「障害者専用の乗り場を鉄道駅に設置してほしい」との要望に対し「スペース確保などの問題を含め今後、検討していきたい」との回答があったことが報告された。意見交換では国営昭和記念公園方面のコミュニティバス運行を望む意見などがあがった。

